

平成26年度ぐんま緑の県民基金事業について

1 趣旨

豊かな水を育み、また災害を防止するなど、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす森林は、県民共有の財産である。

この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入した「ぐんま緑の県民税」を財源とする「ぐんま緑の県民基金」を活用し、次の目標に向けて、様々な対策に取り組む。

2 目指すべき目標

- ◆豊かな水を育み、災害に強い森林づくり
- ◆里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造

3 事業の内容

単位:千円

区分	事業内容	H26事業量(予定)	H26 予算案計上額	担当課
水源地域等の森林整備			386,092	
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施	事業地調査委託:970ha 森林調査委託:970ha 森林整備実施:360ha	323,076	林政課
水源林機能増進	簡易水道等の上流部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進	事業地調査委託:150ha 森林調査委託:150ha 森林整備実施:50ha	40,250	
松くい虫被害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生	事業地調査委託:50ha 森林調査委託:50ha 森林整備実施:10ha	22,766	
ボランティア活動・森林環境教育の推進			6,314	
ボランティア活動の推進	ボランティア情報の収集と提供、指導や資機材の貸出など一体的なサポートを行う森林ボランティア支援センターを整備	開設費、運営費、事業費	5,100	緑化推進課
森林環境教育の推進	森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者を育成	指導者育成カリキュラム作成、受講者募集準備、指導者養成講座実施	1,214	
市町村提案型事業	地域の実情に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援	①荒廃した里山・平地林の整備 ②貴重な自然環境の保護・保全 ③森林環境教育・普及啓発 ④森林の公有林化 ⑤独自提案事業	190,000	林政課
制度運営			40,040	
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施	納税通知書に同封するチラシの作成	1,848	税務課
		普及資材(チラシ・ポスター等)作成、新聞広告(3紙)、事業地等をバスで巡る現地説明会(3回)	2,936	林政課
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営	ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催(3回)	595	林政課
	事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林の状況を調査し、事業の効果を検証(20カ所)	663	林業試験場
ぐんま緑の県民税導入経費	市町村において、納税通知書にチラシを同封することに伴い増加する郵便料金・封入費用の実費相当額及び賦課徴収に係る事務手続の増加に対する経費相当額を負担	35市町村	33,998	税務課
計			622,446	